

問 本町の災害対策は万全か

町長 防災の初動マニュアル体制で

**防災ガイドマップな
どの見直しは**

**災害時の避難所体制
や備蓄品の見直しは**

のために青少年研修館
や新しい消防庁舎を避
難所に解放する考えは。

問各地で大雨による被害が多発しているが本町の防災ガイドマップ

などの見直しの必要は。

問コロナ禍が続く中、災害時の避難所体制の整備や備蓄品などの点検、見直しの必要は。

答青少年研修館は検討するが、消防庁舎は難しい。

答「訓子府町防災ガイドマップ」は平成29年に発行したが、本年5月に改正された「災害対策基本法」の内容も踏まえながら今後も改訂を進めていく。

答「防災に関する初動マニュアル」で避難所の管理体制の整備をしている。

問「コロナ対策としての備品整備は。」

答「防災に関する初動マニュアル」で避難所の管理体制の整備をしている。

答間仕切するためのポツプアップテントや段ボールベット、間仕切りなどの整備を計画的に進めている。

問コロナ禍の今、高齢者、妊婦や乳幼児など

進めている。



かわばた よしえ
河端 芳恵 議員

災害のない穏やかな
日々が続きますように



ダンボールベッドを使った防災訓練

問

各公園、街路樹などの管理の考えは

町長

時代のニーズに合った維持管理を

公園の見直しは

問高齢化や少子化で求められる公園のあり方が変化しているが、時代のニーズに合った公園全体の見直しは。

答町内には、中央公園

レクリエーション公園など16カ所の公園があるが、少子高齢化などで社会情勢が大きく変わっており、住民の声を聞き時代のニーズに合った公園の維持管理に努める。

公園遊具の統廃合は

問遊具による事故がこちらこちらで起きていますが、遊具を統廃合するなどして安全に遊べる公園に再編成する考えは。

答本町には遊具のある公園が11カ所あり、多くは設置から数十年経過して老朽化している。点検業者による年1回の定期点検、職員による月1回の巡回点検のほか、草刈りの委託業者からも情報を得て事故防止に努めている。少子高齢化、人口減少が進む中、公園のあり方や機能について検証し計画的に進める。

**街路樹、公園内樹木
や花壇の管理は**

問町が管理する街路樹の枝が、電線にかかったり車道にはみ出たりしている所もあり、台風などが来ると危険なので安全をどのように確保するか。

答周囲の環境や景観との調和を図ることを基本に毎年度計画的に剪定している。

問公園内や歩道の花壇は手入れされていない所もあるが、どのように考えているか。

答街並み整備時に自分の敷地前は個人の責任で行うと取り決めた。

